

報道関係者各位

令和4年産さくらんぼ作柄調査 補完調査結果

1 調査の概要

- 着果・肥大状況：県内の主産地の15園地において調査(6月3日～6日)
(5月23日に実施した作柄調査の48園地から選定)
裂果の発生状況：主産地の農業技術普及課による確認調査(6月6日～9日)
出荷状況：主産地のJA等関係団体から聞き取り調査(6月6日～9日)

2 結果の概要

○予想収穫量は作柄調査結果(5月25日発表：13,300トン)と同様の見込み

- ・雨除けのない「佐藤錦」で裂果の発生等が見られるものの、現時点では作柄への影響は小さいと見込まれ、肥大も順調に進んでいることから、予想収穫量は当初の見込みどおりであり、高品質なさくらんぼが期待される。

○収穫盛期も作柄調査結果と同様に、「佐藤錦」で6月19日～22日、「紅秀峰」で6月29日～7月2日の見込み

- ・現時点での生育の進みは、平年より2～4日早く、前年並である。

3 生育の概況

(1) 着果の状況

○各産地とも一定の着果量は確保されている

- ・補完調査における短果枝当たりの着果数は作柄調査時と同等であり、実止まり期以降の果実の落果(生理落果)の作柄への影響はないと見込まれる。
- ・6月2～7日にかけて断続的に降雨があり、雨除けのない「佐藤錦」で裂果がみられるものの、早生品種「紅さやか」や雨除け栽培の「佐藤錦」における裂果は少ないことから、現時点での作柄への影響は少ないと見込まれる。

(2) 果実の肥大状況

○「佐藤錦」の果実肥大は概ね順調

- ・主力品種の「佐藤錦」では、5月の降雨が適度にあつたことに加え、着果の多い園地では摘果作業が徹底されたこと等から、肥大は順調に進んでいる。

(3) 収穫出荷の状況と今後の見込み

- 5月の日照時間が多く、着色の進みが順調であり、生育は平年より2～4日早く、前年並と見込まれる

■主力品種の出荷時期の見込み

品種名 (作型)	紅さやか		佐藤錦				紅秀峰	
	始期	盛期	(露地)		(雨よけ被覆)		始期	盛期
出荷時期	5/26頃	6/2 ～6/5	6/2頃	6/10 ～6/13	6/14頃	6/19 ～6/22	6/25頃	6/29 ～7/2

4 今後の対応等

- 高品質な果実の出荷に向けた適切な着色管理や適期収穫の実施と果実品質を重視した厳選出荷の推進に向けた指導を徹底する。
- 補完調査結果について、最新情報として消費地市場等へ提供する。

【問合せ先】

山形県さくらんぼ作柄調査委員会事務局
(山形県農林水産部 園芸大国推進課内)
課長補佐(園芸農業推進) 深瀬 靖
TEL: 023-630-2453

[報道監] 農林水産部次長 森谷 健